

地球に生きる

MIWA KOKYU

幻想の中の
モン・サン・ミシェル生誕
100
周年
三輪晃久写真展

みわこうきゅう

三輪晃久（1925-2006）は、人間社会の原点をさぐり、人間の幸せとは何かを模索して旅を続けた写真家です。千葉県に生まれ、海軍学徒として従軍し、九死に一生を得て戦後、釧路市で米軍の情報将校から写真の指導を受け、写真家としての道を歩み始めます。

三輪は、世界を旅し異なった風土を感じながら、自然の中に溶け込み原始の生活を送る人々や輝かしい文明を築き上げた民族、闘争に明け暮れる国々などを見つめてきました。その中で生まれたテーマが人間共生をうたう〈われら地球人〉です。

本展は、三輪晃久の生誕100周年を記念して、釧路市で保管している作品から、約100点を紹介します。

5月24日(土)～6月29日(日)

午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

●休館日 月曜日 ●観覧料 一般600（400）円、大学生以下無料

※() 内は前売券、および10人以上の団体料金

※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方は無料

※～5月23日(金)まで前売券取扱

まなぼとと幣舞、MOOガイド、コーチャンフォー釧路店、くしろ演劇みたい会、コーチャンフォー釧路文化ホール、釧路市民活動センターわっと

●関連事業

記念講演会

講師……三輪昌央氏（三輪晃久写真研究所）

日程……5月24日(土)

時間……午後1時（40分程度）

場所……まなぼとと5階ハイビジョンシアター

※詳細は、後日当館ホームページでお知らせします。

問合先 釧路市立美術館

（幣舞町4-28 まなぼとと幣舞3階 ☎42-6116）



釧路市戦後80年平和事業についてお知らせします

戦後80年を迎える今年度、市が制定する「核兵器廃絶平和都市宣言」40年という記念の年になります。

市では、戦争の記憶を風化させず、平和への思いを後世につなげるため、さまざまな記念事業を実施します。

※事業内容が未定なものについては、詳細が決まり次第順次ご案内します。

問合先 釧路市平和都市推進委員会事務局（☎31-4521 市役所市民生活課内）

市ホームページはこちら▶



平和コンクール作品募集について

若い世代の方々に核兵器の恐ろしさや平和の尊さを学んでいただくため、下記のとおりコンクールを開催します。

皆さんからのたくさんのお応募をお待ちしています。



●第25回平和絵画コンクール

対 象 市内に在住する小学生

テーマ 小学生が思い描く「平和な暮らし」

募集期間 4月8日(火)～5月30日(金)

●第38回平和図書読書感想文コンクール

対 象 市内に在住する中学生

課題図書 世界唯一の被爆地、広島・長崎の原爆を主題とした図書（小説・随筆・詩集・ルポルタージュ等）

募集期間 4月8日(火)～5月23日(金)

●第24回平和の主張コンクール

対 象 市内高校に通う高校生

テーマ 戦争と平和について思うこと、主張したいこと

募集期間 4月8日(火)～5月23日(金)

被爆地訪問市民代表団の派遣

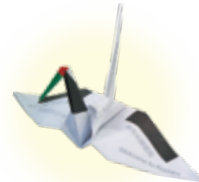
期 間 8月5日(火)～8日(金)

派遣先 広島市

団員等 平和図書読書感想文コンクール最優秀賞受賞者

広島市へ千羽鶴の奉納
市民代表団が広島市平和記念公園に奉納します

釧路市民の想いを込めた千羽鶴を広島市へ奉納するため、市内の各施設や学生の皆さんにご協力をお願いします。

戦争の記憶の収集
～あなたの戦争体験をお寄せください～

昭和20年、市の中心部は空襲により大きな被害を受けました。現在では、その記憶も次第に風化しつつあります。

私たちの今日の平和が、尊い犠牲の上にあることを再認識するとともに、平和な社会を担う若い世代に引き継ぐため、戦争を体験した方々の証言、手記、写真などを募集します。

被爆体験伝承講話（平和のつどい）

将来を担う若い世代の方々に、原爆の悲惨さや平和の尊さを学ぶ場として、市内中・高生を対象に開催しています。戦後80年を迎えることから、より多くの市民の皆さんにご参加いただくため、対象を一般の市民の皆さんに広げて開催する予定です。

釧路市民戦災死没者慰霊式並びに
平和祈念式の開催

過去の戦災による犠牲者のご冥福と世界の恒久平和を祈る式典です。

日 時 8月15日(金) 午後1時30分

会 場 栄町平和公園A面（噴水側）

多くの皆様のご来場をお待ちしています。

